

2020年 6月 14日

# 主 日 礼 拝

①8時半      ②10時半      ③13時半      ④19時

司 会  
奏 楽  
祈 禱  
賛 美  
使徒信条

石井 秀人兄

白川 達男兄

聖歌454番&～あなたがたがわたしを選んだのではない～

聖 書      第二テモテ2章1～8節

特別賛美  
メッセージ

大和カルバリー聖歌隊&アンサンブル

「イエス・キリストをいつも思っていなさい」

石井 潤 牧師

献 金  
祝 禱  
お知らせ  
賛 美

聖歌580番    ~慕い求めます・感謝の心~

[献金当番：和田姉・千鶴子姉]

[司会者]

～見よわたしは新しいことをする～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！  
《今週のお知らせ》

★本日も、共に主に礼拝をお捧げできますことを心より感謝いたします！

☆本日礼拝後の昼食はありません。午後のスケジュールもお休みです。

★今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半・19時半。○準備祈祷会：土曜夜8時。共に祈りましょう！

☆木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

★来週の日曜礼拝では聖餐式。午後は執事会を行いたいと思います。

## 一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/14-21]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	1歴代誌 21-23章	24- 27章	28- 29章	2歴代誌 1-4章	5- 6章	7- 9章	10- 13章	14- 17章
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

## 「イエス・キリストを思っていないさい」

～私たちが強められるために～

「私の子供のようなテモテ。キリスト・イエスの恵みによって、強くしていただきなさい。」

第二テモテ2章1節 [現代訳]

パウロは最愛の弟子テモテに対して、まず「強くなる」ことを勧めました。それは、これから信  
仰者として歩んで行く中で、どうしても強くならなければならない理由があるということを理解  
していたからです。

その理由とは、「苦しみ」でした。3節では「苦しみを共にしてほしい」、9節では「この福音  
のために、わたしは悪者のように苦しめられ、ついに鎖につながれるに至った」と書かれていま  
す。しかしパウロは、自分自身が苦しみに遭うこと、耐え忍ぶことによって、イエス・キリストの  
福音、救いがますます多くの人々に届けられるようになることを悟りました。これは、究極の悟  
りであると思います。自分自身が、福音を捨てるなら、自分は解放されるが、神の言葉が力  
のないものになってしまう。だからパウロは苦しみの中で敢えて耐え忍んでいたのです。

テモテに委ねられている役目は、そのパウロの信仰の世界を理解し、さらにその世界を受  
け止める人々を育てていくことでした。しかし、そんな中でも、曲った心で信仰を受け止めて  
いる者たちがいて、テモテはその惑わしからクリスチャンたちを守るという使命もありました。パウ  
ロとは物理的、状況的には離れていましたが、テモテはパウロと一つ心になってその使命を果  
たすことを求められていました。そのために、テモテ自身もパウロ先生のように、主の偉大な力  
(エペソ6:10)によって強められる必要がありました。それは自分の力ではありません。主に  
よって、聖霊様によって「強められる(受動形)」必要があるのです。

私たちはどうでしょうか？パウロたちの状況とは全く同じではありませんが、与えられた福音  
に生きるためには、ただ状況に流されるだけでは不可能であることを悟る必要があります。

今回の新型コロナウイルスとの闘いの中で、生活様式が変わろうとしています。それ以  
上に、私たちはもう一度信仰の原点に堅く立って、目を覚ましていなければなりません。

現在私たちは聖書通読で「歴代志上」を読んでいます。聖書の歴史を見ると、イスラエル  
だけではなく、世界全体の歴史は神様によって作られてきたことを知ることができます。その  
神様は今も生きておられて現在の私たちの生きている時代も導いておられます。ダビデは王  
となっても、自分が主なる神のしもべであることを自覚していました。羊飼いという最も卑  
しい身分であった彼が、神によって選ばれて王となりました。だから彼は常に主を目の前にお  
いて礼拝の日々を送り、主も彼を強め続けてくださったのです。私たちもダビデのように常に  
主を目の前に置き、その豊かな恵みによって強められ続けていきたいと願います！